

守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

第 2 回 学区別会議 [守山学区]

平成 25 年 8 月 1 日 (木) 午後 7 時 30 分から守山会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 2 回学区別会議を開催しました。

最初に「守山まるごと活性化プラン」の目指すもの、検討の進め方などについて事務局から説明がありました。その後、守山学区にお住まいの住民 25 名に、滋賀県立大学の濱崎先生や学生さんも加わり、「地域の特徴、良いところ」、「地域のたからもの」について話し合い、最後に参加者同士で共有しました。

学区別会議の様子

■当日のプログラム

- ①挨拶：千代学区長より
- ②内容説明：プランの内容と検討方法、会議当日のプログラム内容
- ③テーブルに分かれて意見交換：『地域の特徴、良いところ』、
『地域のたからもの』さがし
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲テーブル毎に話し合いました

テーブル毎に守山学区の『特徴、良いところ』、『たからもの』について話し合いました



▲話し合いをしている様子です。



▲発表会を通じて情報を共有化しました。

- 4つのテーブルに分かれ、『学区の特徴、良いところ』、そして『たからもの（今まで大事にしてきたものや文化、自慢できるものなど）』を話し合いました。
- 『地域の特徴や良いところ』で出てきた意見の中では、「駅近で生活利便性が高く、人口が増加」、「中山道に関連する街道文化や神社仏閣、遺跡などの歴史遺産が豊富」、「ホテルや水などの自然が大切にされている」などのご意見がありました。一方で、「マンションや宅地開発など、急激な人口増加による新旧住民の融合が難しい」などの課題も出されました。
- 『たからもの』では、地域で継承されている伝統的な祭や住民が主体となって実施している地域活動、学区内に点在する神社仏閣などが多く出てきました。また、ホテルや水のきれいな川など、地域で大切にしている自然環境も守山学区の特徴となっています。

■滋賀県立大学 濱崎先生のコメント

地域の活性化は人の繋がりから始まる。歴史的遺産はもちろん大切であるが、消防団や自治会活動などの地域活動が盛んであることは、大きな宝である。外からの目線で考えた場合と、地域住民が大切に思うものが違うのが興味深い。こういったたからものをどう活かすか、今後一緒に議論していきたい。



■お問い合わせ

守山市政策調整部みらい政策課

〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号

TEL: 077-582-1162 e-mail: miraiseisaku@city.moriyama.lg.jp